

最後までやり抜く気持ちを持ち続けることが大切

新入生のみなさん、入学おめでとう。高校生になって2週間がたちました。周りを見渡すと知らない人ばかりで心細く思っている人も多いのではないのでしょうか。新しい進路に踏み出すと必ず通る道です。エネルギーを使いますね。でも、少しずつ慣れていきます。色々な発見が必ずあります。学校に通う楽しみを1つ見つけましょう。さて、伊丹西高校では進路に関する様々な授業や講演、体験を積むことができるプログラムを準備しています。今興味がなくても、何がきっかけになるかわかりません。自分の進路のアンテナを広く高く立てて、自分の可能性に是非挑戦してみてください。

2年生のみなさん、入学から1年が経ちました。この1年、進路について様々な話を聞き、経験も積んできましたね。今年、自分と向き合い将来像を具体化していく時期です。“何となく”を“具体的”に考えていく必要があります。そして、それはあなた自身が決めなくてはなりません。それとともに、進路を実現できる学力も付けていかなくてはなりません。毎日の地道な取り組み以外に、不動の学力を付ける方法はありません。自分に負けずに、授業に真剣に取り組むとともに毎日の生活の中に必ず家庭学習の時間を入れましょう。

3年生のみなさん、進路実現をするまさにその時がやってきました。今まで地道な努力をしてきた人はこれからのまとめ、そして応用がとても大切な時期になります。最後までやり切る強い気持ちを持ちましょう。まだ何も始めていない人は、いつから始めるのですか。目標が決まってから始めることができればよいのですが、決めきれない人はまず必要な勉強を今日から始めましょう。大切なことは“今日から”です。そして、明日必ず今日の続きを勉強しましょう。この気持ちを持ち続ける限り、永久にあなたは勉強を続けることができます。期待しています。

さて、今年卒業した君たちの先輩に合格体験記を書いてもらいました。そこには何度も何度も不合格の結果に打ちひしがれ、そのたびに立ち上がり最後まで頑張り続け、合格を勝ち取った人もいました。また、クラブ活動との両立に悩みながら勉強に打ち込み、3年生のクラブ活動が終わった後に必死に勉強に挑戦し、ついに第1志望校に合格した先輩もいました。これからは、みなさんが主役です。将来に向けて順風満帆な時ばかりではありません。しかし、先輩たちが残してくれた伊丹西伝統の負けじ魂で、最後の最後までやり抜く気持ちを持ち続け、栄冠を勝ち取ってください。

進路指導部とは

進路指導部は、進路ガイダンスや進路講演会の企画・運営、進路情報の提供、インターンシップ・就職指導など多岐にわたりますが、みなさんの進路実現のサポートをする部です。担当者は以下の通りです。

進路指導部長	I.S.
進学担当	Y.M.
進学・就職担当	J.A.
就職担当	Y.N.



合格体験記

次の文章は今春本校を卒業した第32回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。

就職 尼崎市消防局

私が消防官の採用試験を受けることを決めたのは、採用試験まで残り6カ月のときでした。残された時間はあまりにも短く、もっと早く進路を決めていたらと後悔しました。それからの私はもう後悔したくないと思い、残された6ヶ月間を真剣にこれ以上ないというぐらいに必死に勉強しました。土日や夏休みは、ほぼ毎回大原の公務員無料セミナーにも参加して、朝から夜まで頑張りました。私はできることはすべてやったという自信を持って採用試験に臨むことができました。そして、奇跡に近いですが、尼崎市消防局に採用して頂きました。今回のことで、努力は必ず報われる、そして、合格したいという気持ちを強く持ち、あきらめなければ夢はかなうと思いました。

進学 京都産業大学

今思うと、本当に積み重ねというのは大切だと思いました。勉強し始めた時も、今までその場しのぎの勉強しかしていなかったので、全然自分の力にはなっていないくて、勉強を一から始めるしかなかった。1日24時間の使い方を大切にして、1日10分でもいいから続けていくことが大切だと思いました。

「あすなろ」の名前の由来

人にはそれぞれに将来の夢や希望があります。「進路」とは、将来こんな生き方をしたい、こんな職業に就きたいという自分の将来像に向かって進むべき道のことです。自分の将来像を実現していく強い思いを、ヒノキ科の植物**あすなろ**の「明日はヒノキになろう」という名前の由来に託しています。